

在宅介護実態調査の概要について

1 目的

介護保険事業計画の作成過程において「要介護者の在宅生活の継続」や「介護者の就労の継続」に有効な介護サービスの在り方、方向性を検討するための基礎資料を得る。

2 実施期間

2019年1月～12月

3 調査対象

在宅で生活している要支援・要介護認定を受けている方のうち、更新申請・区分変更申請（要支援からの新規申請含む）に伴う認定調査を受ける（受けた）方 183 名。

4 調査方法

認定調査員（区職員）による訪問調査に伴う聞き取り方式により実施。

5 調査項目

A 票 本人の概況	問 1	世帯類型
	問 2	家族等による介護の頻度
	問 3	主な介護者
	問 4	介護のための離職の有無
	問 5	施設等への入所・入居の検討状況
B 票 主な介護者の 就労状況	問 1	主な介護者の就労の有無
	問 2	主な介護者の方の働き方の調整の状況
	問 3	主な介護者の就労継続見込
	問 4	今後の在宅生活の継続にあたり、主な介護者が不安に感じる介護

6 分析方法

厚生労働省から配布された集計・分析ソフトを用いて、調査結果及び認定データ※を関連付けし、そのクロス集計等のデータによる分析を行う。

※調査後、認定審査会等を経て認定データ化されるまで 1 か月半程度要する。集計結果へ調査対象者の認定データが全て反映されるのは 2 月中旬以降となる。

7 今後のスケジュール

令和 2 年 3 月末を目途に、認定データを最新値に更新した上で調査報告書を作成。